

## 参 考 資 料 編

### 6. プレゼン資料（新潟輸送株式会社）

## 中小企業のお客様における 提案営業による3PLの事例

### 発表次第

#### 弊社概要

#### 物流診断手法について

#### 事例企業の概要

1. 物流診断について
2. 物流提案について
3. 3PL成果内容

#### まとめ



2004年02月16日

新潟輸送株式会社  
生本 健

### 弊社（新潟輸送株式会社）概要

本社所在地	: 新潟県中蒲原郡亀田町砂岡5-10-1
設立	: 昭和49年2月
資本金	: 2億円
従業員数	: 451名
株主	: 亀田製菓株式会社（100%）
事業所	: 新潟・関東・中部・関西に9事業所
事業内容	: 貨物自動車運送業・倉庫業他
年間売上高	: 74億円（平成14年度）
外販比率	: 親会社以外の売上比率35%

顧客開拓の手段として  
物流課題は全ての企業に存在する

## 物流診断手法について

Step 1. 顧客の選定  
既存顧客及び  
新規顧客の洗い出し

Step 2. 顧客への訪問  
経営トップ及び物流担当者と面談  
顧客の業種に合った事例紹介  
物流情報の収集  
物流現場の確認  
詳細情報の提供依頼  
提供情報の守秘性の遵守

Step 3. 収集情報の分析  
社内検討・分析  
課題項目の抽出  
問題点の研究

Step 4. 物流診断プレゼン  
必ず経営トップを交える  
課題項目・問題点の提示  
仮説提案

Step 5. 課題解決に向けた仮説の検証  
社内検討及び顧客との協議

↓  
目標設定アプローチ  
(顧客と共同で)

Step 6. 顧客との目標達成に向けた  
プロジェ外発足

↓  
顧客内で課題解決に向けた  
変革運動の創生

2



## 事例：河内製菓株式会社概要

本社・工場所在地： 栃木県栃木市  
資本金： 200,000千円  
従業員数： 80名  
事業所： 本社・工場1ヶ所  
事業内容： 米菓製造・販売100%  
売上・利益：

決算期	売上高 (千円)	利益金 (千円)
平成11年1月	2,100,000	1,500
平成12年1月	1,850,000	-3,500
平成13年1月	1,750,000	-5,500

概況： 年商30億円の生産体制の工場設備の投資を行うが、最近では環境が芳しくなく採算割れの推移。最近、大阪製菓㈱のOEM生産を請け負い、売上規模の拡大に貢献している。

当方の認識

- ・ 現状、赤字経営のため原価の低減が急務であり
- ・ 新たな設備投資は無理である

3



# 1. 物流診断について



## 物流コスト分析 モデル企業との比較

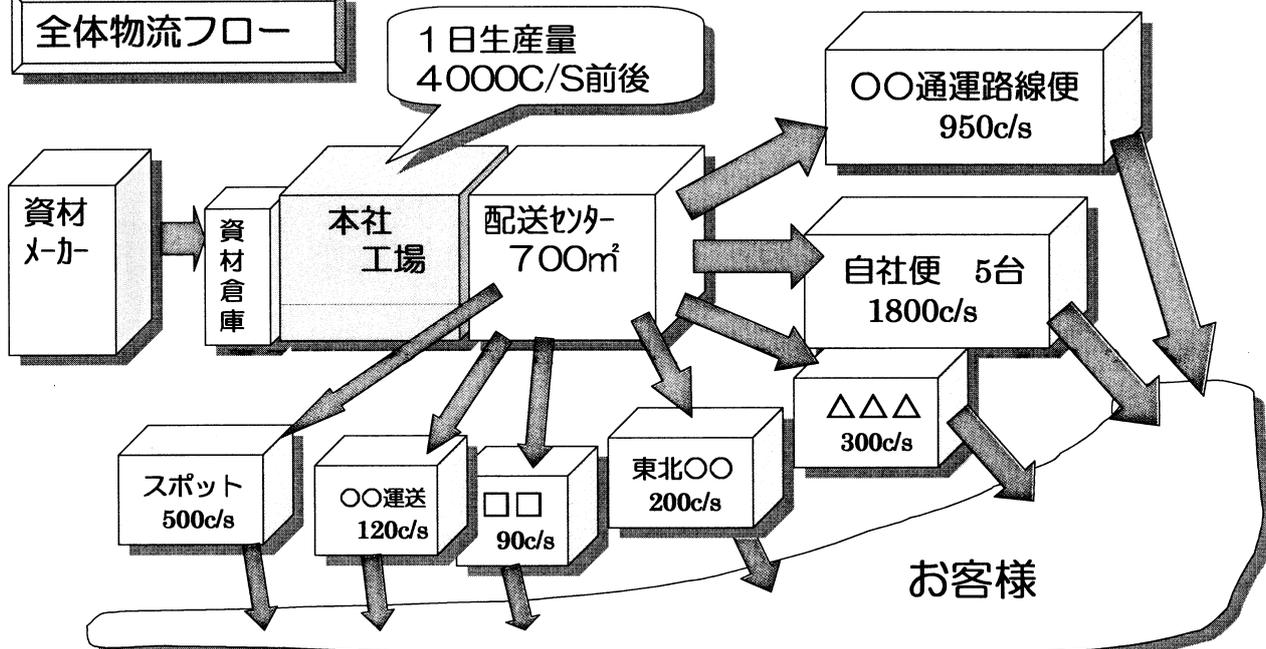
結論から 全体物流コスト 月間単位 簡易型

モデル企業					河内製菓様				コスト差 構成比差を 金額換算
項目	費目	計算基礎	数量	金額	計算基礎	数量	金額	物流コスト 構成比	
人件費	①管理者	600 千円/月	2人	1,200	450 千円/月	1.0人	450	26.50%	課題
	②一般男子	450	6人	2,700	350 千円/月	4.0人	1,400		
	③一般男子				千円/月				
	④一般女子	320	4人	1,280	250 千円/月	2.0人	500		
	⑤パートアルバイト				80 千円/月	2.0人	160		
	小計			5,180			2,510		274
配送費	⑥支払運賃	14,114	台	14,114	4,800 千円/月	台	4,800	56.73%	課題
	⑦横持支払				22 千円/月	22日	484		
	⑧車両維持費	50	2台	50	30 千円/月	3台	90		
	小計			14,164			5,374		
保管費	⑨支払保管費	813 千円/月	m	813	500 千円/月	m	500	13.34%	賃貸倉庫 →課題
	⑩支払作業費	985		985	千円/月	日			
	⑪自家倉庫費				0.7 千円/月	700	490		
	⑫水道光熱費	200 千円/月	m	200	200 千円/月	m	200		
加工費 を含む	⑬倉庫内機器	52 千円/月	4台	208	50 千円/月	1台	50	100%	±0
	⑭在庫金利	月末在庫金額×年利/12			月末在庫金額×年利/12				
	小計	52,500 千円/月	0.16%	82	15,000 千円/月	0.156%	23		
	小計			2,288			1,263		276
情報	⑮情報機器費	月額リース料	×物流での利用 月間リース率	177 千円/月	30%	2.4%	53	2.90%	187
	⑯消耗品費	月額支払実績	×物流での利用率	100 千円/月	30%		30		
処理 費	⑰通信費	月額支払実績	×物流での利用率	400 千円/月	30%		120	0.53%	3
	小計			203			275		
その他	⑱事務所費	1.1 千円/月	99m	109	1.0 千円/月	50m	50		
	トータル物流コスト			21,944			9,472	100%	±0
管理 指標	⑲売上高	311,127		311,127			100,000		
	⑳物流コスト比率			7.1%			9.5%		2.4%

月間2,400千円  
年間28,800千円の利益の源泉



## 全体物流フロー

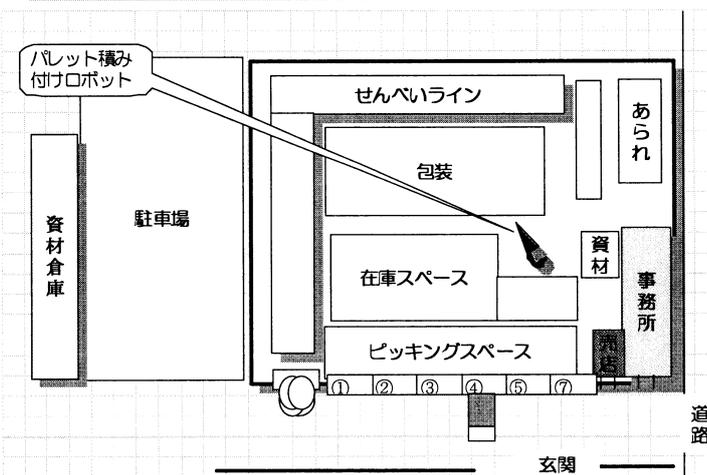


- 1日生産量4000c/s~4500c/s=出荷量
- 内、大阪製菓OEMの生産・出荷量は1100c/s
- 土曜日の生産・出荷は12月を除いて無い
- 平均ケース容積は1.2才=0.0338立米
- 関東圏での売上構成比は84%

6



## 本社工場・配送センター



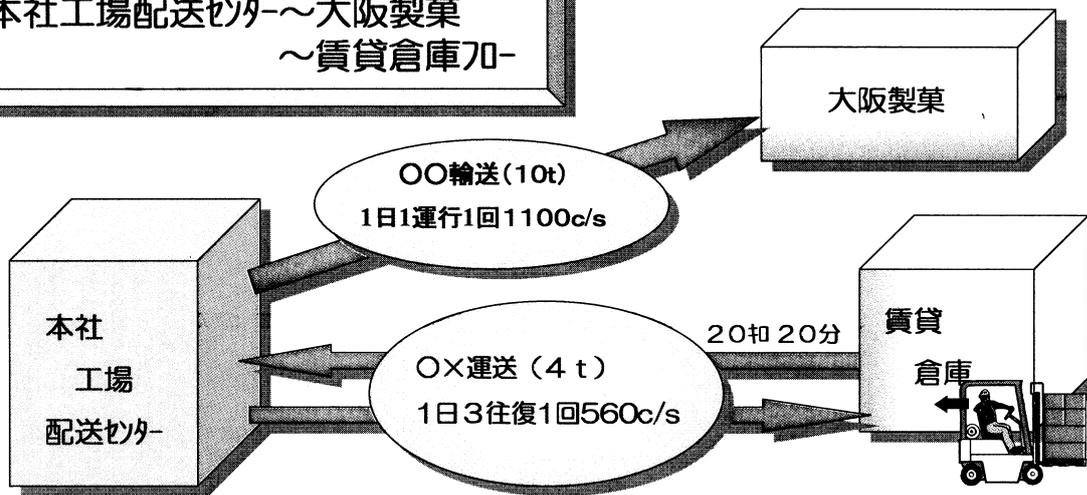
- 資材倉庫と工場間が、駐車場をはさんで位置しているため、台車での搬入作業を行っている
- 物流倉庫は工場の包装・ケース入れ作業場所に隣接→同じ建物を仕切って使用(700㎡)
- 1日当り得意先件数130件程
- パレットへの積み付けは、ロボットで行っている。これにより1名分省力化とのこと
- 荷札貼り→路線便に出す商品に荷札を貼る作業及びバンドがけ作業に3名が当たっている
- バースは7バース
- ピッキングは2名で行っている、
- 出荷について、別の2名が自社便と路線便とに担当を分け行っている

- 在庫日数は2日程度(8000c/s)→在庫スペースの制約あり→常時、欠品問題が発生
- 大阪製菓OEMが本社在庫スペースの3割を占める
- 大阪製菓への輸送はXX輸送の10t車で1日1100c/s
- アイテム数は300アイテム(常時は100アイテム、内6入は10アイテム)
- 平均ケース容積は1ケース1.2才=0.0338立米
- パレット積みケース数は平均72c/s:T11Aパレット使用
- 倉庫でのパレット積み段数は1段積み

7



本社工場配送センター～大阪製菓  
～賃貸倉庫～

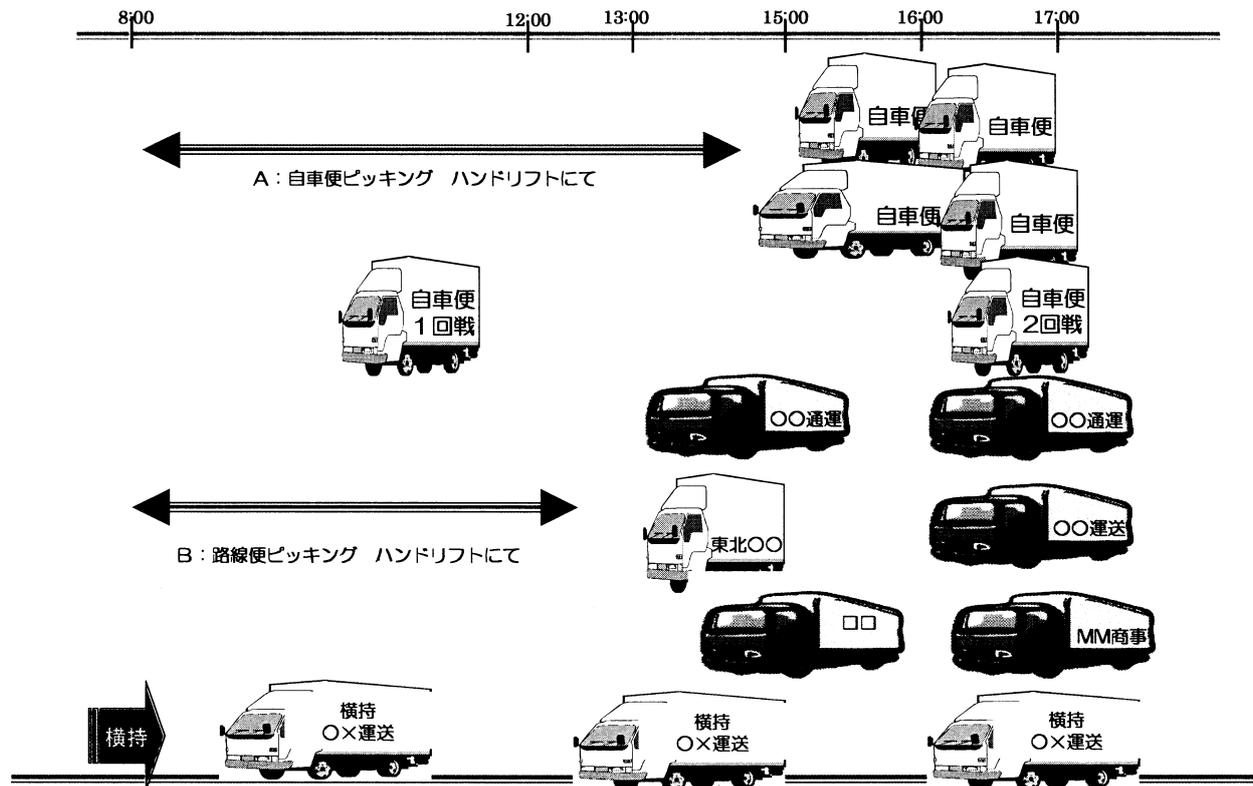


- 大阪製菓への横持は、OO輸送10tにて1100c/sを毎日1運行
- 本社～賃貸倉庫との横持はOX運送にて1日3往復行っている  
出荷はすべて本社にて行うため、賃貸倉庫の在庫は、出荷時本社へ戻す
- 横持車への積み付けは、1PL56c/s×10PL=560c/s
- 賃貸倉庫にフォークリフト1台あるが、本社センターはハンドリフト対応
- 本社と賃貸倉庫間の距離は20Km、時間は20分
- 賃貸倉庫には人員をおかず、乗務員がパレットピックを行っている

8



出荷タイムフロー



9



## 受注のしくみ

- 受注締め時間：AM11:00受注締めの翌日納品  
例外として、近郊分はAM10:00の受注分を当日配送している
- 受注入力：女性事務員2名がVAN・電話・ファックス受注分の入力を行っている  
伝票発行：1日の発行件数は100件～150件
- 受注処理業務：1日当り 女性事務員2名×5時間
- 配車・出荷手配：業務課長が担当

## 河内製菓(株)様の課題抽出と仮説

課題及びニーズ	現状	仮説
① 配送運賃の見直し	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自車便運賃 2,000 千/円</li> <li>・ その他(路線) 2,800 千/円</li> <li>・ 関東圏のウェイト84%</li> <li>・ 関東圏へは自車便だけでなく路線便も多く活用</li> </ul>	<b>配送運賃の低減</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東圏は共通対応を行う</li> <li>・ 路線便は関東圏以外の対応とする</li> </ul>
② 本社配送センターの運用 在庫スペースの問題	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 在庫に制約された生産のため、常時欠品問題が発生</li> <li>・ 大阪製菓 OEM8月、3品 追加予定</li> </ul>	<b>配送センターの運用・効率化追求</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 配送センターは外注する</li> <li>・ 本社配送センターは工場の専用スペースとする</li> </ul>
③ 賃貸倉庫の常時使用 往復の機持の発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 機持は外部委託(OX運送) 4t持込 22000円/日</li> </ul>	<b>配送センターの一元化</b> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 製品在庫を一元管理し、出荷する</li> <li>・ 出荷・配送は他メーカーと共通する</li> </ul>
④ ハンド掛針・荷札貼り作業について 路線便はすべてに発生	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 男子社員3人で半日かかる</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 関東圏共通対応により</li> <li>→ 関東の荷札貼・バンド掛の撤廃</li> </ul>
⑤ 事務処理業務	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ ビックリスト・納品書・路線シール送り状等の発行をパート2名で業務</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 受注データの送信により共通化に業務を移管</li> <li>→ 納品書発行等の事務業務の移管</li> <li>→ 受領書回収・返品管理の移管</li> <li>→ 路線便への出荷の移管</li> </ul>
⑥ 自車便の効率性?	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 河内製菓専用のため、積載量・率が不効率</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 自車便は廃止し</li> <li>→ ドライバー・車は専任対応</li> </ul>

## 2. 物流提案について

12



### マーケティング面への アプローチ

受注データ受信  
により

- ・商品別ABC分析
- ・納品先ABC分析と共配リット
- ・エリア別構成分析
- ・得意先別物流コスト分析 等

◆御社商品の月間データ分析

商品別順位・立方メートル

商品名	ケース	立方メートル	容積	構成比	累積構成	ランク
1 A	7,003	235.30286	11,672	17.75%	17.75%	s
2 B	4,135	139.50043	6,920	10.53%	28.28%	s
3 C	3,429	115.21541	5,715	8.69%	36.97%	s
4 D	1,626	70.35614	3,490	5.31%	42.28%	s
5 E	2,456	66.68003	3,308	5.03%	47.31%	s
6 F	1,485	49.81617	2,471	3.76%	51.07%	A
7 G	1,618	41.83371	2,075	3.16%	54.23%	A
8 H	1,478	40.12748	1,990	3.03%	57.25%	A
9 I	964	31.39613	1,557	2.37%	59.62%	A
10 J	895	30.73460	1,525	2.32%	61.94%	A
11 K	1,059	29.42220	1,459	2.22%	64.16%	A
12 L	1,052	29.22772	1,450	2.21%	66.37%	A
13 M	1,643	28.09530	1,394	2.12%	68.49%	A
14 N	950	27.44993	1,361	2.07%	70.56%	A
15 O	1,107	26.61317	1,320	2.01%	72.56%	A
16 P	763	23.00674	1,141	1.74%	74.30%	A
17 Q	558	22.17343	1,100	1.67%	75.97%	A
18 R	679	19.75014	980	1.49%	77.46%	A
19 S	484	19.23287	954	1.45%	78.91%	A
その他 107品	44,935	1325.39094	65,744	21.09%	21.09%	BC
総計	44,935	1325.39094	65,744	100.00%	100.00%	
平均		0.029495737	1.46			

◆御社得意先別の月間データ分析

得意先別順位・立方メートル

届け先	住所	ケース	立方メートル	容積	構成比	累積構成
1 ア	千葉県 松戸市	3,221	82.7765	4,108	6.25%	6.25%
2 イ	埼玉県 川越市	1,940	57.7482	2,864	4.36%	10.60%
3 ウ	埼玉県 行田市	1,826	51.8086	2,560	3.89%	14.50%
4 エ	埼玉県 厚木市	2,322	48.5657	2,409	3.68%	18.18%
5 オ	群馬県 前橋市	1,522	48.5127	2,406	3.68%	21.82%
6 カ	群馬県 館林市	1,546	47.0048	2,332	3.55%	25.37%
7 キ	埼玉県 大宮市	1,112	34.5405	1,713	2.61%	27.97%
8 ク	茨城県 水戸市	1,026	31.1237	1,544	2.35%	30.32%
9 ケ	埼玉県 岩槻市	871	28.2525	1,401	2.13%	32.45%
10 コ	群馬県 前橋市	783	24.4648	1,214	1.85%	34.30%
11 サ	埼玉県 越川市	697	23.3680	1,161	1.77%	36.06%
12 シ	東京都 三鷹市新川	736	22.5270	1,117	1.70%	37.76%
13 ス	埼玉県 八潮市	834	22.4526	1,114	1.69%	39.46%
14 セ	群馬県 群馬郡 群馬	699	22.3861	1,110	1.69%	41.15%
15 ソ	埼玉県 草加市	793	21.8435	1,084	1.65%	42.80%
16 タ	埼玉県 岩槻市	580	19.4882	967	1.47%	44.27%
17 チ	茨城県 水戸市	587	18.9032	938	1.43%	45.69%
18 ツ	神奈川県 大和市	620	18.5585	921	1.40%	47.09%
19 テ		547	16.8919	838	1.27%	48.37%
20 ト	茨城県 真壁郡 笠宿	533	16.0109	794	1.21%	49.57%
他272店		22,340	608.3386	33,152	50.43%	50.43%
総計		44,935	1,325.3909	65,744	100.00%	100.00%

・配送先のデータを検証しますと、他食品メーカーと共同配送することでコストメリットが出てくると考えられます

◆御社エリア別のデータ分析

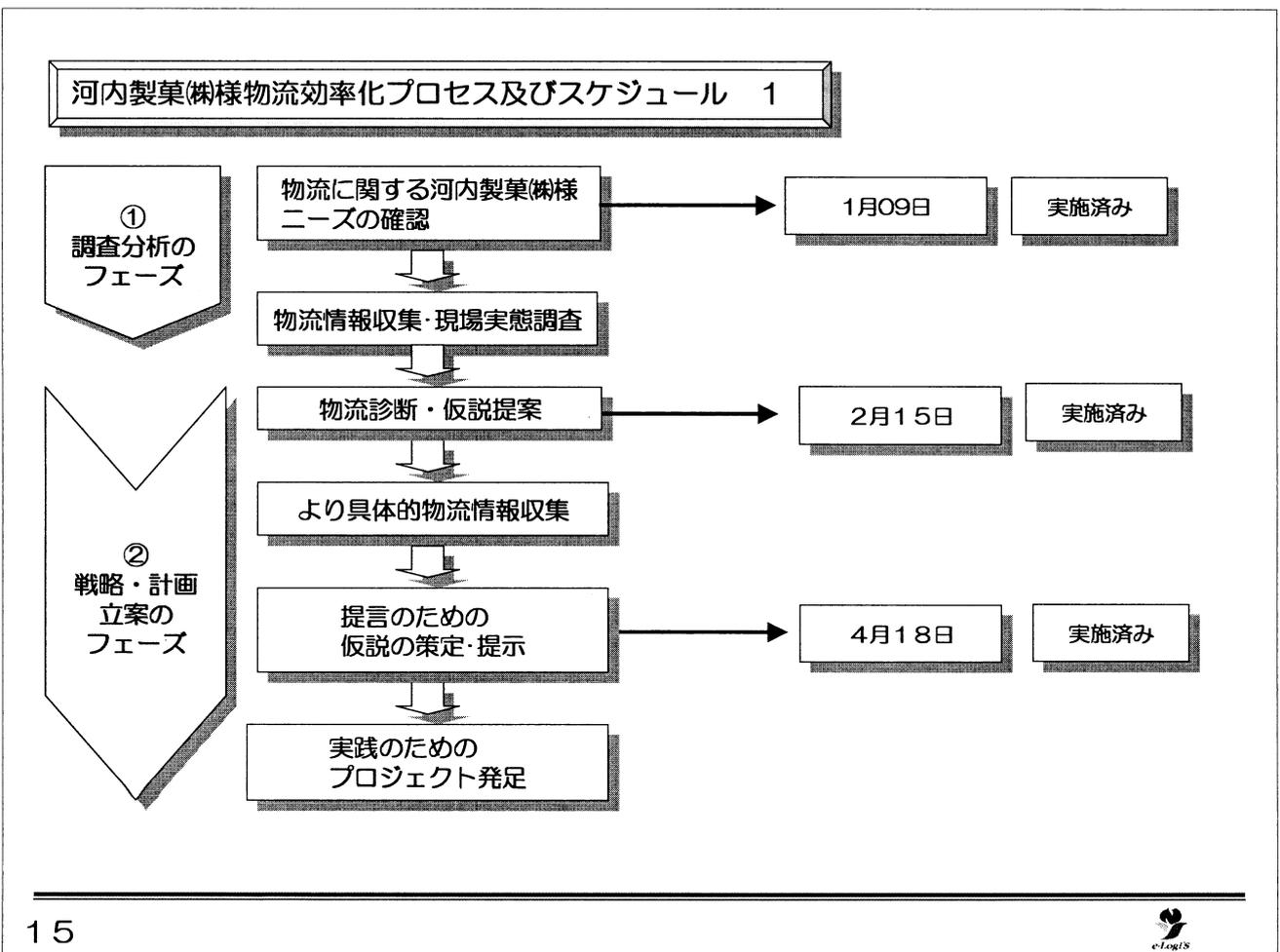
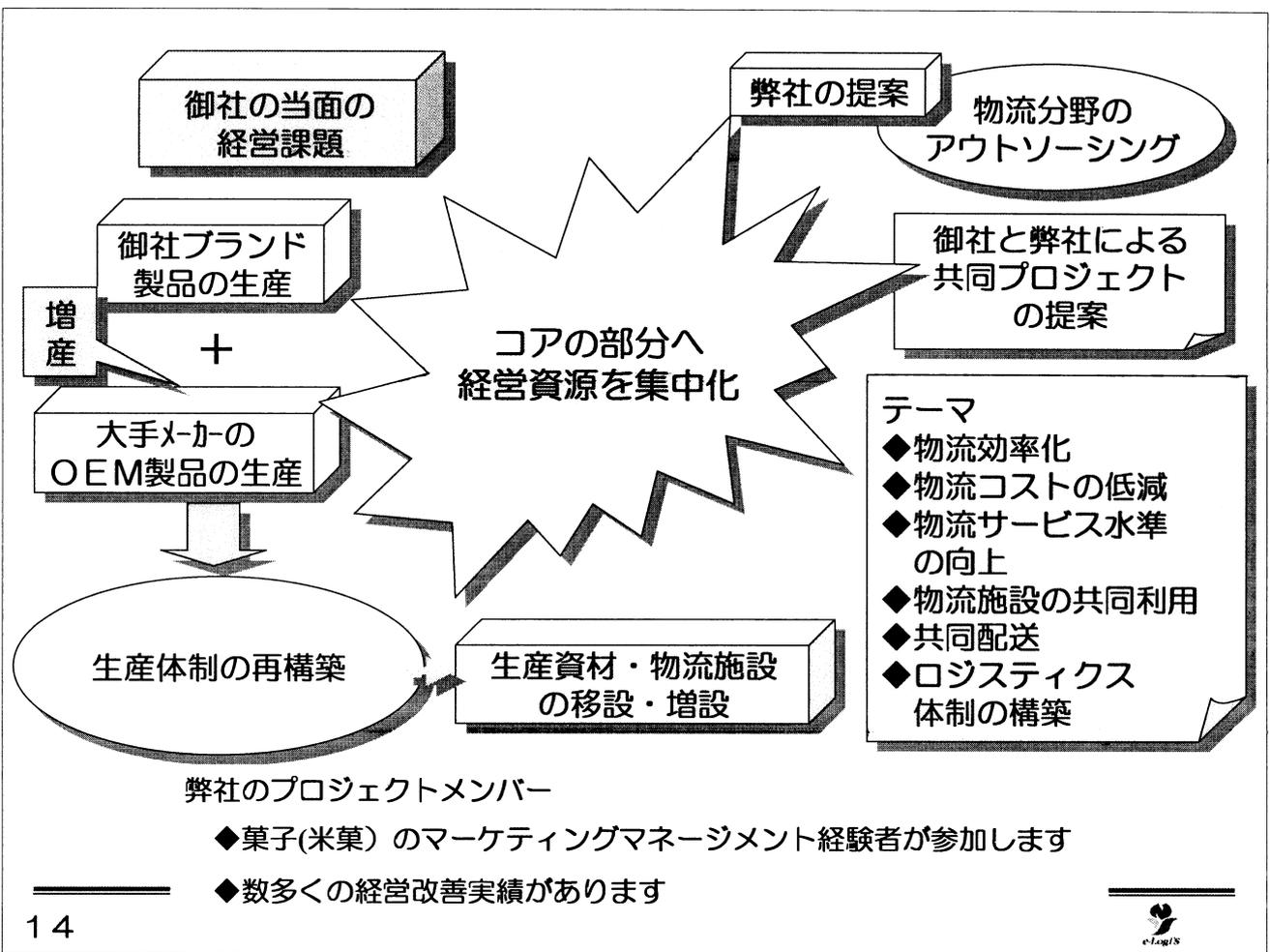
地区別順位・立方メートル

	ケース数	立米数	容積数	構成比	累積構成
1 埼玉県	12,705	387.75490	19,234	29.25%	29.25%
2 群馬県	6,528	200.23852	9,932	15.11%	44.36%
3 東京都	6,747	194.24842	9,635	14.65%	59.01%
4 千葉県	6,460	177.78665	8,819	13.41%	72.43%
5 神奈川県	5,987	162.73127	8,072	12.28%	84.71%
6 茨城県	3,802	113.79197	5,612	8.54%	93.24%
9 栃木県	465	14.84219	736	1.12%	94.36%
関東圏小計	42,694	1251.39393	62,040	94.36%	94.36%
7 長野県	1,050	33.79875	1,677	2.55%	96.91%
8 静岡県	597	19.18467	952	1.45%	98.36%
10 山梨県	154	4.84261	240	0.37%	98.72%
その他	440	16.17098	839	1.28%	100.00%
合計	44,935	1325.39094	65,748	100.00%	100.00%

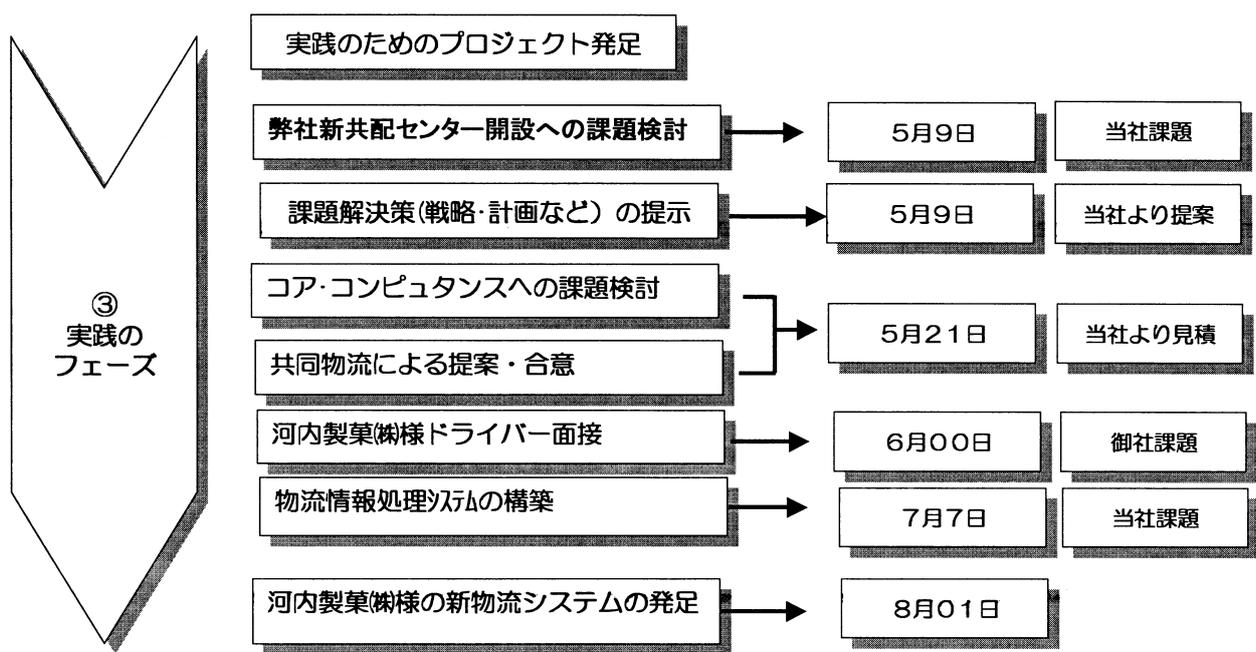
13







## 河内製菓(株)様物流効率化プロセス及びスケジュール 2



### 3. 物流アウトソーシング成果内容

## 今回の物流アウトソーシングによる河内製菓(株)様のメリット

人員のシフトは、増産対応のため不足している生産部門へ

No	ニーズ	業務項目	成果	内容	コスト
1	・常態的な在庫スペース不足 ・倉庫スペースに制約された生産対応 ・外部倉庫の使用による無駄な横持 ・OEMの増加対応がひかえまします倉庫スペースが逼迫	・保管スペース課題 ・欠品課題 →製品在庫をすべて当社共配センターに移管 →弊社が物流業務を一括管理	・製品在庫に制約された生産が解消 →仕掛品の大幅削減 ・欠品課題の解消 ・倉庫要員を生産にシフト	・製造の生産性が大幅にアップ	生産に3名シフト
2	・事務作業の効率化	・受注情報をデータ送信	・伝票発行・仕分け業務の解消 ・配車業務の解消	・弊社に移管	生産に1名シフト
3	・外部倉庫の使用による無駄な横持	・横持業務課題	・共配センターまでの横持は弊社で行う →往復の横持は解消	・効率化	変動費化
4	・無駄な作業の解消	・路線便活用時に発生	・バンドル作業の解消 ・シール貼り作業の解消	・関東圏は解消 ・関東圏以外は弊社から路線便活用	生産に1名シフト
5	・共同配送	・弊社による関東圏共配(関東圏売上構成は85%)	・配送コストの大幅低減 ・納品先様での荷受業務の低減	・菓子食品に特化した配送のため物流品質の向上	配送費の低減
6	・自車便のためのコスト高	・自車便の解消	・弊社へ転籍	・積載率向上	コスト低減 変動費化

18



### 物流コスト比較 現状コストとの比較

受託前(3月)		計算基礎	数量	金額	物流コスト 構成比	受託後(8月)		数量	金額	物流コスト 構成比	金額差
人件費	①管理者	450 千円/月	1.0 人	450	26.50%	408 千円/月	1.0 人	408	21.72%	-1,238	
	②一般男子	350	4.0 人	1,400		350	1.0 人	350			→3名減
	③一般男子										
	④一般女子	250	2.0 人	500		257 千円/月	2.0 人	513			
	⑤パートアルバイト	80	2.0 人	160		80 千円/月	人				→2名減
小計				2,510			1,272		21,722		
配送費	⑥支払運賃	4,800	台	4,800	56.73%	2,712 千円/月	台	2,712	55.33%	-2,134	
	⑦横持料	22	22 日	484		500 千円/月		500			→横持含 →路線便
	⑧車両費	30 千円/月	3台	90		28 千円/月	1台	28			
	⑨車両維持費										
小計				5,374			3,240				
保管費	⑩支払保管費	500 千円/月	m	500	13.34%	363 千円/月	m	363	17.40%	-245	
	⑪自家倉庫費	0.7	700 m	490		582 千円/月	日	582			→入出庫料 →工場設備のため
	⑫水道光熱費	200 千円/月	m	200			m				
	⑬倉庫内機器	50 千円/月	1台	50		50 千円/月	1台	50			
	⑭在庫金利	月末在庫金額×年利/12		23		15,000 千円/月	0.156%	23			
小計				1,263			1,019				
情報	⑮情報機器費	月額リース料	×物流での月額リース率	75	2.90%	月額リース料	×物流での利用率	75	4.70%	-245	
	⑯消耗品費	月額支払実績	×物流での利用率	50		月額支払実績	×物流での利用率	50			
処理	⑰通信費	月額支払実績	×物流での利用率	150	0.53%	月額支払実績	×物流での利用率	150	0.85%	-3617	
	⑱事務所費	1.0 千円/月	50 m	50		50 千円/月	m	50			
小計				275			275				
その他				50			50				
トータル物流コスト				9,472	100%	5,855				100%	-3,617
管理	⑲売上高			100,000				80,000			
指標	⑳物流コスト比率			9.5%			7.3%			-2.2%	

現状より23%減：月間1,760千円  
年間21,120千円の利益貢献

19



## まとめ

1. 最初の面談はキーマン（できればトップ）と行う
  - ・ その業種に合った事例をプレゼンする
  - ・ 必ず共感が得られる部分がある→物流診断アプローチ
2. 物流診断により現状把握と課題の抽出を行う
  - ・ 経営課題であるため、提案はトップ報告が鍵
  - ・ 物流コスト分析（簡易型）により課題を数値化する
  - ・ 課題解決のために仮説を立てる
  - ・ いずれも全体最適の観点で
3. 仮説を検証した上で、実行に移す
  - ・ 荷主との共同プロジェクトにする
  - ・ 結果の評価は物流コスト分析にて行う

今回の事例発表は以上でございます

ありがとうございました

## 参 考 資 料 編

### 7. プレゼン資料（三井倉庫株式会社）

国土交通省「日本における3PLビジネスの育成に関する調査検討会」 殿

三井倉庫の3PL事業展開に関するご紹介



■目次

- 1.3PLビジネスの位置づけ
- 2.3PLビジネスへの参入
- 3.3PLに必要な情報システム
- 4.3PL事例紹介
- 5.3PLビジネス拡充に向けての問題点

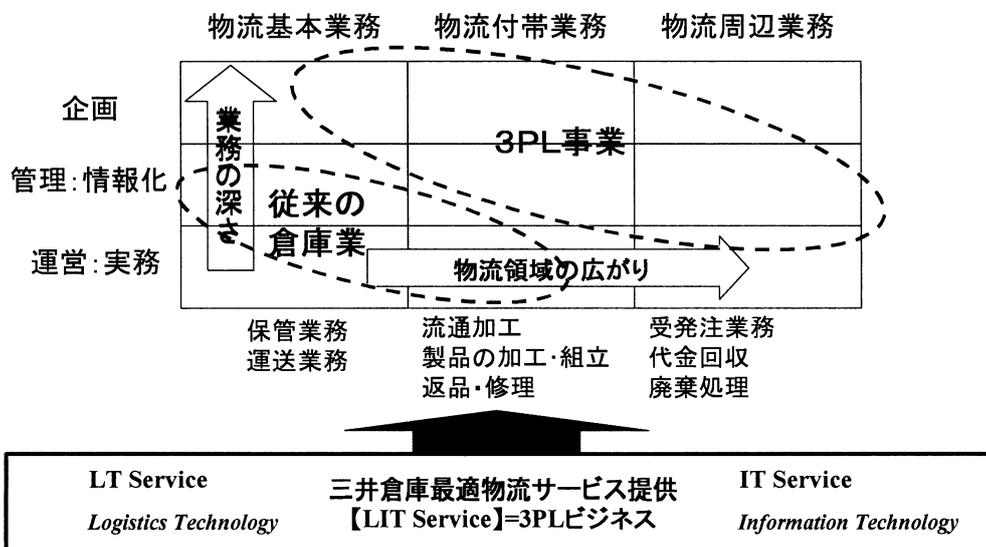
2004年2月16日（月）

三井倉庫株式会社

1.3PLビジネスの位置づけ

■倉庫業から3PL事業へ

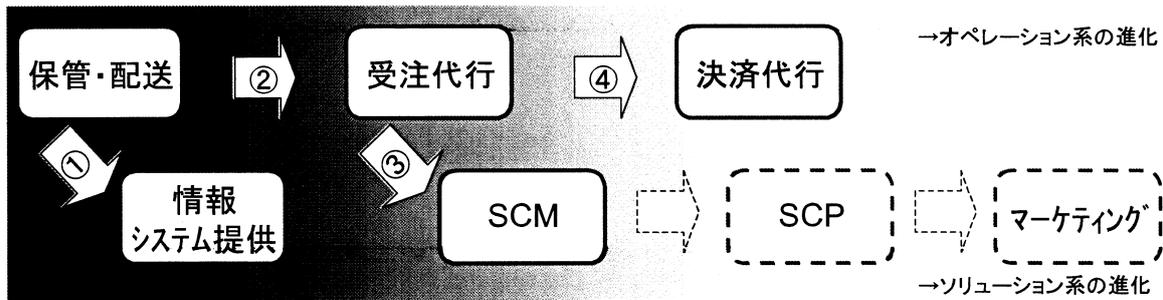
「保管スペース」の販売から「物流システム」の販売へ  
 不足機能は外部調達を行い、荷主企業へ一貫した物流システムを提供  
 （アセット+ノンアセット混合型で展開）



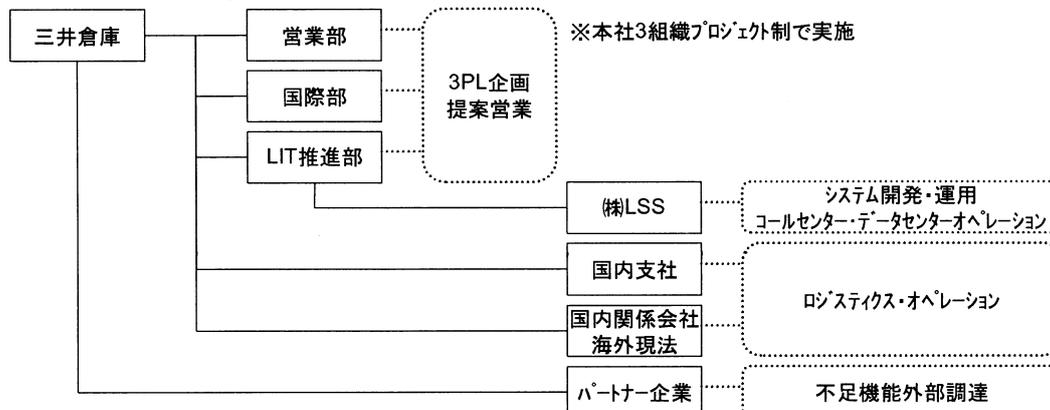
※当社は、3PLビジネス事業展開のKey pointを「IT Service」と位置づけている。

## 2.3PLビジネスへの参入

### ■倉庫業としての3PLビジネスから出発



### ■3PLビジネス体制



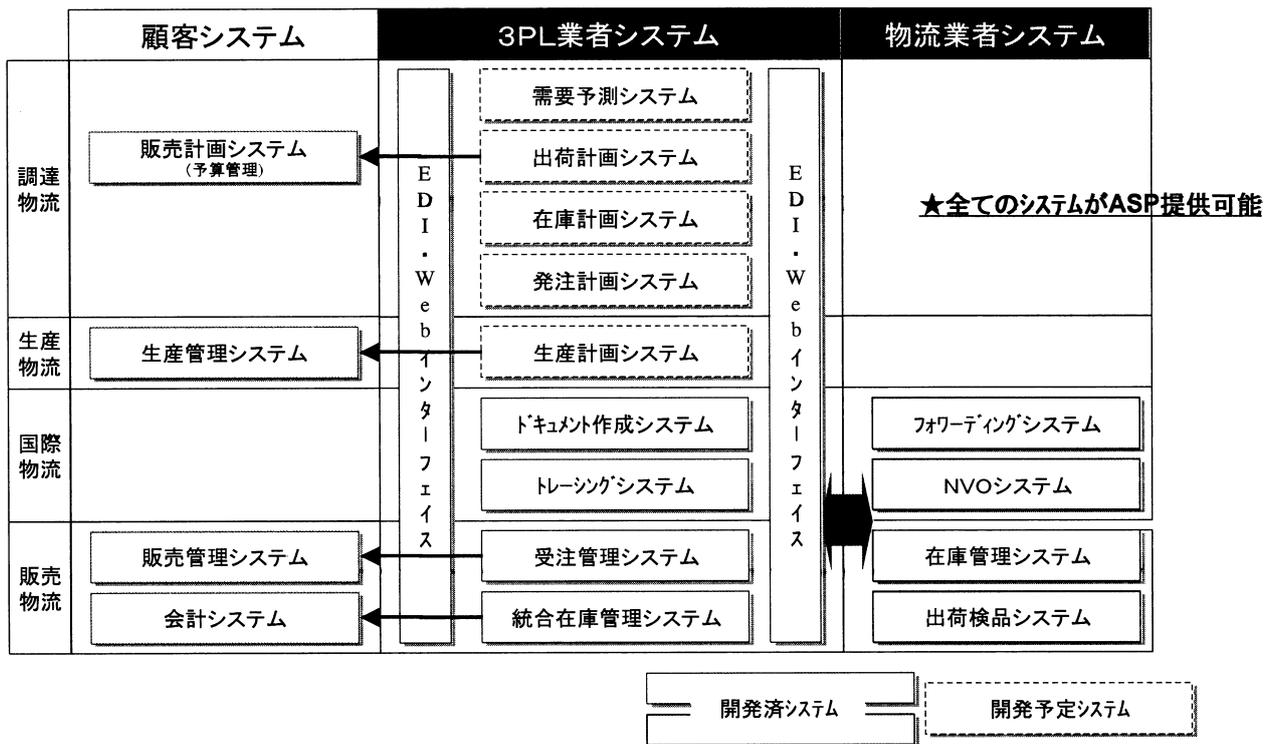
## 2.3PLビジネスへの参入

### ■3PL事例紹介

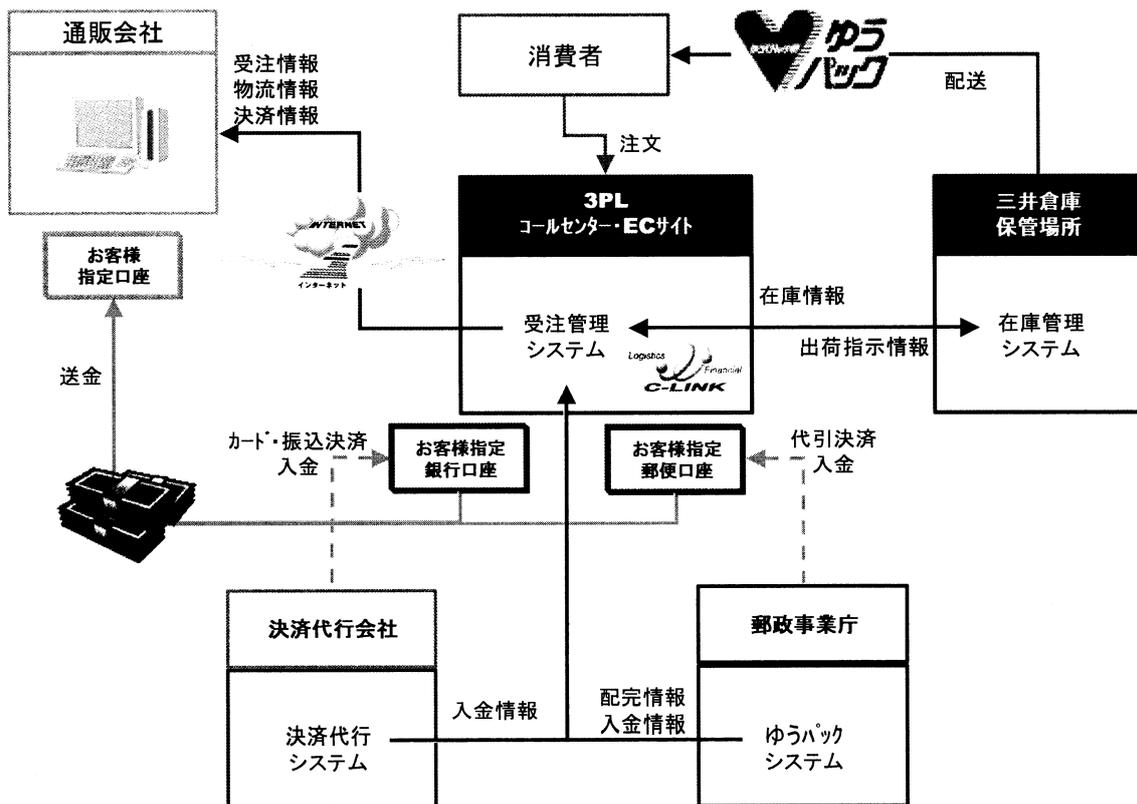
荷主	商品	業務範囲	特色
A社 ①②	飲料 100万ケース/年	北米～日本 輸出入オペレーション 国内3拠点在庫・配送	荷主へのシステム提供 (受注・仕訳・レポート・EDI) 弊社物流システムとの連携
B社 ①②③	化学品 10万トン/年	アジア1カ国内 工場～保管～配送・輸出オペレーション	荷主企業へのロジ担当者派遣 SCM支援システム提供 (貿易書類作成・トレーシング・在庫)
C社 ①②③④	通販業者 600件/月	受注～在庫～配送～代金回収 通販業務一括アウトソーシング	荷主企業の発注業務以外の 全ての業務をアウトソーシング 通販支援システム提供

### 3.3PLに必要な情報システム

#### ■弊社が目指す3PLに必要な情報システム体系



### 4.3PLビジネス事例紹介 【提供機能連携図】



**One Stop Solution Service by Mitsui-Soko & 郵政事業庁**



#### 4.3PLビジネス事例紹介 【C-LINK画面】

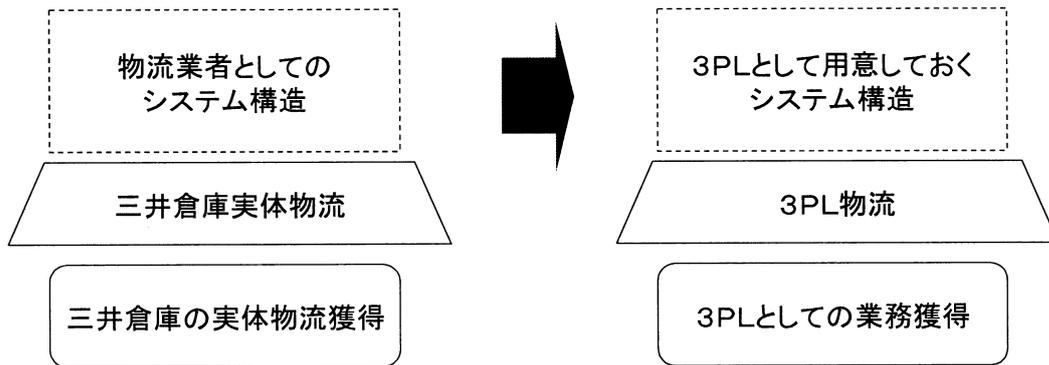
The screenshot shows the 'Commerce Link' interface. On the left, there's a sidebar with navigation options like '受注一覧' (Order List) and '受注詳細' (Order Details). The main area displays a table of orders with columns for order number, status, and dates. A detailed view of order 'J36A00018-01' is shown on the right, including recipient information, shipping details, and a tracking log.

The screenshot shows the '郵便公社Web連携' (Japan Post Web Link) interface. It displays a search result for a parcel with tracking number '10-4150-...' (代引小包). A table shows the status of the parcel from December 5th to 14th, including events like '到着' (Arrival) and '不在のためには持戻り' (Return due to absence).

© Copyright MITSUI SOKO Co., Ltd. 2004 Page-7

#### 5.3PLビジネス拡充に向けての問題点

■三井倉庫としてのアセット販売から3PLサービス販売への意識改革！



■ 3PL 業者に求められる要件（強化ポイント）

- ①最適物流システムの設計・改善能力
- ②物流情報システムの開発・提供能力
- ③グローバルロジスティクスに対応するネットワーク能力
- ④オペレーション能力

- 提案力
- IT力
- 連携力
- 実行力